

つながる奥会津支援制度 手引き



この手引きは、「つながる奥会津支援制度」の申請、実施、報告にかかる事務手続きを解説したものです。
制度の運用にあたり必要な事項をまとめているので、必ずお読みください。
運用事例が蓄積されるにしたいがい、本手引書は内容の充実を図っていきます。

令和6年2月
只見川電源流域振興協議会

目次

I.	つながる奥会津支援制度とは	2
II.	こんな事業が対象です	3
1.	支援対象となる事業	3
2.	支援対象外の事業	4
3.	支援期間	4
4.	申請団体の種類	4
5.	経費の考え方と事業実施体制	4
III.	申請から事業実施後までの流れと手続き	5
1.	申請から事業実施者の選定まで	6
(1)	申請	6
(2)	ヒアリング	6
(3)	実施事業の選定	6
(4)	事業実施体制の確定	6
2.	事業実施中	7
3.	事業評価と改善（Check、Action）	7
(1)	実施報告	7
(2)	事業評価と検証	7
(3)	追跡調査	7
(4)	知見の共有	7
IV.	各種様式	8
1.	様式1 つながる奥会津実施計画書（類型 A・B 用）【記載例】	8
2.	様式2 つながる奥会津情報共有シート（類型 C 用）	10
3.	様式3 つながる奥会津実施報告書	11
4.	様式4 つながる奥会津追跡調査報告書	14

I. つながる奥会津支援制度とは

奥会津における広域観光連携事業の実施を促し、事業の自立・自走化、継続化につなげるため、各町村や観光協会、民間団体、民間企業等が申請する実施計画に対して支援を行う、支援事業です。

奥会津に関わる多様な主体が“つながって取り組む（連携する）”ことで、奥会津がもっと多くの人と“つながる（関係人口の拡大）”ことを目指して、「つながる奥会津支援制度」と名付けました。

具体的には、奥会津地域内で実施する広域観光連携のアイディアに対して、只見川電源流域振興協議会の予算を用いて実証事業を行うことができます。

たとえば・・・

- ✓ 奥会津全域の食材を活用した商品開発をしたい
- ✓ 奥会津の公共交通網をフォローするシェアカーを導入したい
- ✓ イベント時に周遊バスを走らせたい

100年後も活力に満ちた豊かな奥会津であるために、
広域で連携することで、観光まちづくりの取り組みを強化しましょう！

つながる奥会津支援制度は、

自立・自走・継続する事業の実証に対して支援するものです。

- ・ 本支援事業での実証事業をきっかけとして、奥会津地域で末永く活動を継続していただくことを想定しています。
- ・ そのため、「実証事業期間中にどのように活動の基盤を固めていくか」、「実証事業期間終了後はどのように活動を展開していくか」、という長期的な視野を持つことが大切です。
- ・ 実証事業を進めながら、実証事業終了後の自走体制についてもみんなで考えていきます。

II. こんな事業が対象です

1. 支援対象となる事業

- ・ 奥会津地域の観光まちづくりに資する広域連携事業が対象です。「奥会津地域における広域観光連携の指針」p.3-4 に、「奥会津地域が観光振興に取り組む意義」と「奥会津地域における広域観光連携の意義」が書かれています。これらに合致する事業が対象となります。
- ・ みなさんからの申請を受け付ける事業区分は「類型 B」となり（※）、「①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業」、「②奥会津地域の人財育成に資する事業」、「③奥会津地域の観光客受け入れの環境整備に資する事業」、「④奥会津地域の資源を活用したコンテンツ開発に資する事業」、「⑤奥会津地域の観光情報の発信に資する事業」が対象です。
- ・ 奥会津 7 町村のうち、2 町村以上のエリアにまたがって展開する事業を対象とします。

※なお、奥会津振興センターは自ら申請者となり、7 町村全域に関わる「①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業」、「②奥会津地域の人財育成に資する事業」、「⑤奥会津地域の観光情報の発信に資するもの」を行います。これを「類型 A」と呼びます。

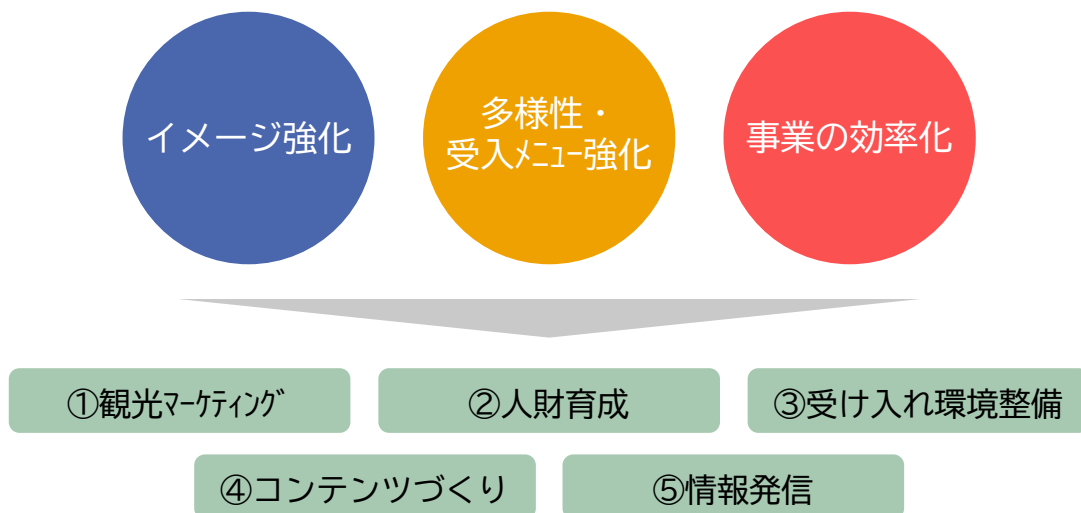


図 奥会津地域における広域観光連携の意義

2. 支援対象外の事業

- ・ 奥会津地域の 1 町村のみを対象とする事業は対象外です。

3. 支援期間

- ・ 実証事業の期間は最大 3 年間となります。
- ・ 実施事業は単年度ごとに選定しますので、継続事業でも毎年度申請していただきます。実証事業実施 2 年目以降は、前年度の成果と反省を踏まえ、発展性のある実施計画を立てる必要があります。

4. 申請団体の種類

- ・ 申請団体の種類によって、本制度運用上の差異はありません。
- ・ いずれの団体の場合も、申請にあたって、団体内部での合意形成が図られている必要があります。

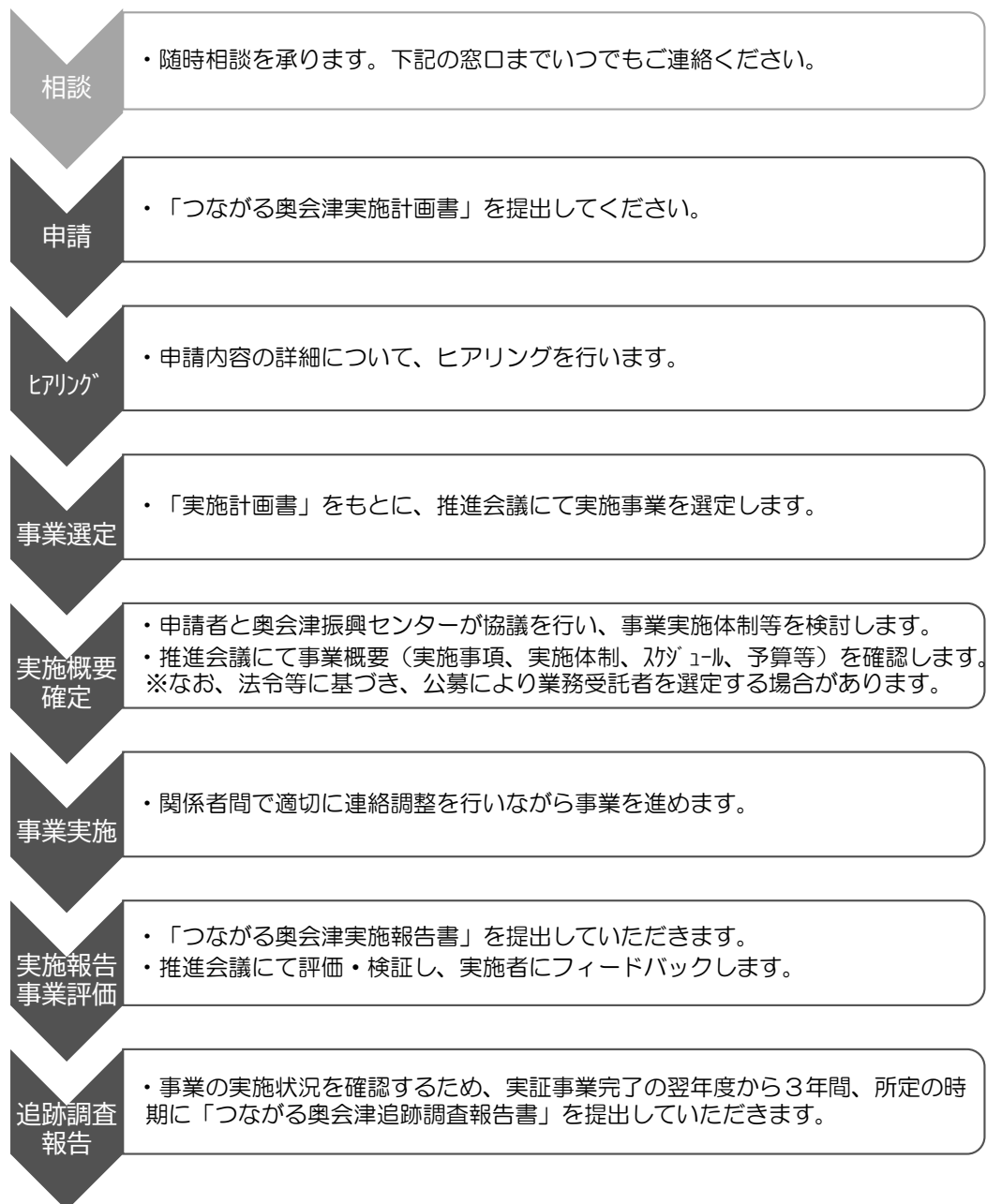
各町村	柳津町、三島町、金山町、只見町、昭和村、南会津町、檜枝岐村
観光協会	奥会津 7 町村の観光協会またはそれに類する組織
民間団体	公の機関でない、ある目的のためにまとまった 2 人以上の集まり。 ただし、政治活動や宗教活動、暴力的不法行為等を行うことを主たる目的として設立されたものを除く。 ・ NPO 法人、商工会、実行委員会など
民間企業	個人事業主、法人

5. 経費の考え方と事業実施体制

- ・ 実証事業の実施にかかる経費は、全額只見川電源流域振興協議会予算を充当し、奥会津振興センターが予算の管理及び契約・支出行為を行います。
- ・ 事業選定後、申請者と奥会津振興センターが協議を行い、事業実施体制や実施方法等を調整します。
- ・ 事業実施にあたっては、法令等に基づき、公募により業務受託者を選定する場合があります。
- ・ なお、経費の考え方や事業実施体制については、本制度の運用を行う中で、より良い進め方を検討していきます。

Ⅲ.申請から事業実施後までの流れと手続き

おおまかな流れは次の通りです。



ご相談は随時承ります。いつでもご連絡ください！

相談・申請窓口：只見川電源流域振興協議会事務局（奥会津振興センター）

電話：0241-42-7125

メール：webmaster@okuaizu.net

※奥会津振興センターが、本支援制度の意志決定組織である奥会津広域観光連携推進会議の事務局を務めています。

1. 申請から事業実施者の選定まで

(1)申請

- ・ 申請者は「様式1つなぐる奥会津実施計画書」を作成し、奥会津振興センター（奥会津広域観光連携推進会議事務局）に提出します。
- ・ 実施事業の選定は 8-9 月に開催の推進会議で行うことを基本としますので、それまでに実施計画書を作成してください。
- ・ 予算作成にあたっては、少なくとも 1 社の参考見積を取得してください（2 社以上の相見積の取得が望ましい）。

年度														
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	...	
推進 会議		● — ● 【推進会議①】 翌年度事業の選定 当年度実施事業の中間報告					● — ● 【推進会議②】 翌年度事業概要の確認 (実施事項、体制、スケジュール、予算)		● — ● 【推進会議③】 当年度事業の確認 前年度事業の評価					
			● — ● — ● — ● 翌年度 予算編成 申請者・センターで 事業実施体制・方法を調整					只電協総会 ★ ● — ● 必要に応じて 業務受託者の選定						
奥会津 振興 センター														

図 全体スケジュールイメージ

(2)ヒアリング

- ・ 申請内容の詳細について、ヒアリングを行います。

(3)実施事業の選定

- ・ 推進会議は、提出された「実施計画書」に基づき、実施事業を選定します。
- ・ 「奥会津地域における広域観光連携の指針」p.3-4 に記載されている、「奥会津地域が観光振興に取り組む意義」と「奥会津地域における広域観光連携の意義」に合致することを確認の上、適合性、妥当性等の観点から実施事業を選定します。
- ・ 事業効果を高める観点から、異なる申請を統合し、1 つの事業としての実施を決定する可能性があります。

(4)事業概要の確定

- ・ 事業選定後、申請者と奥会津振興センターが協議を行い、事業実施体制や実施方法等を調整します。
- ・ 事業実施体制の検討にあたっては、幹事団体を定め、責任の所在を明確にすることが重要です。また、申請者独自の権利や、ノウハウ等の保護に配慮するこ

とし、具体的な対応は個別に協議します。

- ・ 推進会議において、実施事項、実施体制、スケジュール、予算等の事業概要を確認後、事業着手となります。
- ・ 事業実施にあたっては、法令等に基づき、公募により業務受託者を選定する場合があります。

2. 事業実施中

- ・ 実施者（業務受託者がいるケースはそれを含む）および奥会津振興センターは、事業の進捗管理、「実施報告書」・「追跡調査報告書」の作成、その他情報共有等のため、推進会議の場以外でも適切に連絡調整を行います。
- ・ 実証事業の実施にかかる経費は、全額只見川電源流域振興協議会予算を充当し、奥会津振興センターが予算の管理及び契約・支出行為を行います。
- ・ 選定された事業の内容を変更（中止を含む）する場合は、奥会津振興センターにご相談ください。対応を協議します。必要に応じて、推進会議に報告します。

3. 事業評価と改善(Check、Action)

(1)実施報告

- ・ 事業実施年度の2月末までに、実施者は「様式3つなぐる奥会津実施報告書」を作成し、奥会津振興センター（奥会津広域観光連携推進会議事務局）に提出します。

(2)事業評価と検証

- ・ 推進会議は、評価・検証内容を「実施報告書」の「Ⅲ事業評価」欄に記入し、実施者にフィードバックします。

(3)追跡調査

- ・ 事業の実施状況を確認するため、実証事業完了年度の翌年度から3年間、追跡調査を行います。
- ・ 実施者は毎年会計年度終了後20日以内に、「様式4つなぐる奥会津追跡調査報告書」を作成し、推進会議に提出します。
- ・ 推進会議は、提出された「追跡調査報告書」の内容を確認し、必要に応じて助言等を行います。

(4)知見の共有

- ・ 実施内容および事業評価の内容は、奥会津地域における広域観光連携を推進するにあたり貴重なモデルケースとなります。奥会津地域内で広く知見を共有するため、事例集の作成、成果発表会の開催などを想定しています。

IV. 各種様式

1. 様式1 つながる奥会津実施計画書(類型A・B用)【記載例】

様式1 つながる奥会津実施計画書(類型A・B用)

記載例

■提出日: 202×年 8月 20日

■提出者: 山田 太郎

1. 事業類型 ※どちらかに○	【類型A】 ・ 【類型B】		
2. 事業参加組織	只見川電源流域振興協議会事務局 ＋各町村、各観光協会、民間事業者		
3. 事業名	奥会津カーシェアリング導入実証事業		
4. 事業区分 ※該当する項目にチェック	☐ ①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業 ☐ ②奥会津地域の人財育成に資する事業 ☒ ③奥会津地域の観光客受け入れの環境整備に資する事業 ☒ ④奥会津地域の資源を活用したコンテンツ開発に資する事業 ☐ ⑤奥会津地域の観光情報の発信に資する事業		
5. 事業概要・目的	・奥会津地域における新たな交通手段として、カーシェアを実証する ・鉄道駅を起点にカーシェアステーションを配置し、需要、利用実態、利用者の声などからカーシェアが奥会津にマッチするかを確認する。 ・事業実績の効果検証を行い、カーシェアを含む交通体系の検討を行う。 ・只見線の再開通により増加している観光客は鉄道を利用する方が多いが、旅行範囲は鉄道周辺に限定される。カーシェアにより移動範囲を拡大させて周遊性の向上を図る。		
6. 今年度の 実施スケジュール 【プロセス】	・4月：カーシェアステーションの配置場所の選定 ・5月：配置場所の駐車場借用契約 ・6月：車両手続き（警察、運輸局） ・7-12月：カーシェア実証事業の実施 ・1月：効果検証 ・2月：検証結果のまとめ		
7. 実施体制・役割 【インプット】	主催：只見川電源流域振興協議会事務局 計画・検証メンバーとして、各町村の公共交通担当者		
8. 事業経費 【インプット】	費目	金額	内容
①	報償費	千円	
②	旅費	千円	事務局旅費
③	消耗品費	千円	
④	燃料費	千円	
⑤	印刷製本費	千円	カーシェアチラシ印刷
⑥	通信運搬費	千円	

⑦	広告料	千円	
⑧	手数料	千円	
⑨	委託料	千円	カーシェア運用
⑩	使用料及び賃借料	千円	駐車場土地使用料
9. 広域観光連携事業 として行う意義 ※該当する項目にチ ェックをいれ、具 体的に記入 [プロセス]	☒ イメージ強化 ・奥会津という過疎中山間エリアで比較的新しい交通サービスを展開することにより、奥会津＝交通不便のイメージから脱却を図る。 ☒ 多様性・受入メニュー強化 ・各町村において駅周辺の二次交通対策を実施しているが、町村境を超えた多様な移動手段を確保し移動の選択肢を増やすことで、旅行アクセスに関する不満を解消する。 ☐ 事業の効率化		
10. 効果測定指標 (KPI) [アウトプット]	KPI①：カーシェア利用者数 KPI②：カーシェアによる総移動距離（周遊性の向上が図られたか） KPI③：		
11. 事業が奥会津地域 にもたらす効果 (KGI) [アウトカム]	・カーシェアのサービスを定着させることにより、只見線を目的に奥会津に来訪し、乗るだけで通過している観光客を地域内の広範囲に誘客することが期待できる。 ・窓口対応等の人的負担が少ない交通事業を展開することで、人材不足が顕著な奥会津地域における交通手段を持続可能な形で維持していく。		
12. 次年度以降の 展開計画 ※類型Bの場合、類型 Cへ移行するシナリオ を明記すること。 [プロセス]	①奥会津の地域性に合う体制・運用方法の検証 ②自走化に向けた運用方法の検証（主体：民間、後方支援：行政） ③類型Cに移行し自走化		
13. 関連する事業			
14. その他特記事項			

※この他、参考資料の添付も可とします（様式任意）。

以上

2. 様式2 つながる奥会津情報共有シート(類型C用)

様式2 つながる奥会津情報共有シート(類型C用)

■提出日: 年 月 日

■提出者: _____

1. 事業参加組織	
2. 事業名	
3. 事業区分 ※該当する項目にチェック	☐ ①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業 ☐ ②奥会津地域の人財育成に資する事業 ☐ ③奥会津地域の観光客受け入れの環境整備に資する事業 ☐ ④奥会津地域の資源を活用したコンテンツ開発に資する事業 ☐ ⑤奥会津地域の観光情報の発信に資する事業
4. 広域観光連携事業 として行う意義 ※該当する項目に チェックをいれ、具 体的に記入 【プロセス】	☐ イメージ強化 ☐ 多様性・受入メニュー強化 ☐ 事業の効率化
5. 事業が奥会津地域 にもたらす効果 (KGI) 【アウトカム】	
6. 関連する事業	
7. その他特記事項	

※上記以外の項目に関する情報（事業概要・目的、スケジュール、体制・役割、経費、KPI、次年度以降の展開計画）は、任意様式での提供にご協力をお願いします。

以上

3. 様式3 つながる奥会津実施報告書

様式3 つながる奥会津実施報告書

■提出日: 年 月 日

■提出者: _____

I 事業概要 ※実施計画書からの転記

1. 事業類型	【類型A】 ・ 【類型B】
2. 事業参加組織	
3. 事業名	
4. 事業区分	☐ ①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業 ☐ ②奥会津地域の人財育成に資する事業 ☐ ③奥会津地域の観光客受け入れの環境整備に資する事業 ☐ ④奥会津地域の資源を活用したコンテンツ開発に資する事業 ☐ ⑤奥会津地域の観光情報の発信に資する事業
5. 事業概要・目的	
9. 広域観光連携事業 として行う意義 ※該当する項目にチ ェックをいれ、具体 的に記入	☐ イメージ強化 ☐ 多様性・受入メニュー強化 ☐ 事業の効率化
10. 効果測定指標 (KPI) [アウトプット]	KPI① : _____ KPI② : _____ KPI③ : _____
11. 事業が奥会津地域 にもたらす効果 (KGI) [アウトカム]	

※別添にて活動履歴を提出すること。

Ⅱ 事業報告

進捗管理 【プロセス】	・計画に沿って事業を進められたか、について作文 ・順調に進捗した業務や、逆に遅れが発生した業務を取り上げる
効果測定指標 (KPI) 【アウトプット】	KPI①：
	KPI②：
	KPI③：
広域観光連携事業 として行う意義の 達成状況 【プロセス、アウ トプット、アウト カム】	☐ イメージ強化 ☐ 多様性・受入メニュー強化 ☐ 事業の効率化
事業が奥会津地域 にもたらした効果 【アウトカム】	
今後に向けた展望	今後想定される事業主体
	今後想定される予算支出元
	事業推進にあたっての課題と現時点で想定される解決策
	その他

Ⅲ事業評価

事業のポイント	取り組みの特徴 ・この事業の取り組み内容のうち、今後の参考となりそうな特徴的な部分について作文
	事業運営における工夫 ・この事業の進捗管理のうち、今後の参考となりそうな特徴的な部分について作文
	リスク要因 ・この事業を進める上で障壁となった物事や、苦労した点、進捗の遅れや思ったより成果が上がらなかった原因として考えられる事項について作文
総評と展望	総評コメント ・実施者が提出した実施報告書の「広域観光連携事業として行う意義の達成状況」や「事業が奥会津地域にもたらした効果」、「事業推進にあたっての課題と現時点で想定される解決策」について、奥会津広域観光連携推進会議としてどう見るか？
	今後期待される展開 ・来年度以降の事業計画、期待される成果や効果等について作文
	留意すべき事項 ・「リスク要因」を踏まえ、来年度以降の展開にあたり留意すべき事項について作文

以上

4. 様式4 つながる奥会津追跡調査報告書

様式4 つながる奥会津追跡調査報告書

■提出日: 年 月 日

■提出者: _____

1. 事業類型	【類型A】 ・ 【類型B】		
2. 実証事業実施期間	年度～ 年度		
3. 事業参加組織			
4. 事業名			
5. 事業区分	☐ ①奥会津地域の観光マーケティングに資する事業 ☐ ②奥会津地域の人財育成に資する事業 ☐ ③奥会津地域の観光客受け入れの環境整備に資する事業 ☐ ④奥会津地域の資源を活用したコンテンツ開発に資する事業 ☐ ⑤奥会津地域の観光情報の発信に資する事業		
6. 事業概要・目的			
7. 実証事業終了年度以降の状況 ※各年度当てはまるものに○	翌1年後	翌2年後	翌3年後
	・ 拡充、新規展開 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止	・ 拡充、新規展開 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止	・ 拡充、新規展開 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止
	上記の内容及び理由を記載してください		

以上

つながる奥会津支援制度の手引き
令和6年2月策定

発行：只見川電源流域振興協議会
〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平 933 番地